

2019 年度 小樽商科大学学生募集要項 (昼間コース；中国引揚者等子女入試)

1 アドミッション・ポリシー（抜粋）

小樽商科大学は、「現代社会の複合的、国際的な問題の解決に貢献しうる広い視野と深い専門的知識及び豊かな教養と倫理観に基づく識見と行動力により、社会の指導的役割を果たす品格ある人材の育成を目的とする。」（小樽商科大学学則第1条第1項）という理念に基づき次のような人を求めています。

求める学生像

- (1) グローバルな視野のもと地域の社会・経済・文化の発展に貢献する意欲のある人
- (2) 異なる文化・考え方を理解しつつ、自己の能力を高める意欲を持ち、社会科学、人文科学、自然科学等を学ぶために必要な基本的知識を身に付けている人
- (3) 生涯を通じて学ぶことに意義を認め、新たな知識や世界に触れることに喜びを見出すことのできる人

本学では、様々な社会現象や経済社会問題を対象として、新しい知識、理論、方法などを学び、それを使いこなす能力を涵養します。そのためには、入学以前から、文化、思想、歴史、言語、社会科学、自然科学など、特定の科目にとらわれない幅広い学習をしていること、学ぶ意欲を身に付けていることが必要です。

われわれの社会は、文化、思想、歴史、言語、情報技術（IT）、法制度、経済活動など多様な要素で成り立っています。入学前に幅広い知識を修得することは、一見無関係のようにみえても大学で複雑な社会の仕組みを理解し、新しい知識・理論を学ぶ際に必ず役に立つのです。

※アドミッション・ポリシーの全文は本学 Web サイトを参照してください。

<http://www.otaru-uc.ac.jp/info/policy/undergraduate.html>

2 募集人員

学部・学科名	入学定員	募集人員
商 学 部 ┌ 経 済 学 科 ├ 商 学 科 ├ 企 業 法 学 科 └ 社 会 情 報 学 科	465 人	若 干 名

注) 学部一括で募集し、学科への所属は、1 年次終了時に決定する。

3 出願資格

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者が引揚者であり、日本国へ引き揚げ後、原則として、9年以下であるもののうち、次のいずれかに該当するもの

- (1) 高等学校もしくは、中等教育学校を卒業した者及び2019年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2019年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの及び2019年3月までにこれらに該当する見込みのもの
- (4) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2019年3月修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者及び2019年3月までにこれに該当する見込みの者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験（廃止前の大学入学資格検定を含む。）に合格した者又は2019年3月31日までに合格見込みの者
- (7) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2019年3月31日までに18歳に達しているもの

注）出願資格(7)により出願する場合は事前審査が必要となるので、詳細は教務課入試室に電話で照会してください。

4 出願期間

2019年1月17日（木）から2019年1月24日（木）まで

郵送の場合は、1月24日（木）必着。

直接持参する場合は、8:30～17:15 まで（12:00～13:00 を除く。）とし、土曜日及び日曜日は取り扱わない。

5 出願手続

(1) 出願書類（*印は、本学所定の用紙）

書 類 等	提出者	摘 要
*入 学 願 書 *受 験 票 *検定料納付書 *写 真 票	全 員	入学願書等記入要領に従って記入すること。 記入方法を誤ったもの、写真（出願前3か月以内に撮影したもの）を貼っていないものは無効となる。
*あ て 名 票	全 員	郵便番号、住所及び氏名を明記すること。
調 査 書 又 は 成 績 証 明 書	全 員	日本の高等学校もしくは、中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者は、調査書（学校長が作成し、厳封したもの）。出願資格(6)の該当者は合格成績証明書、その他の者は最終卒業学校のもので、厳封したもの。

引揚証明書	全 員	引揚証明書の写し。
検 定 料	全 員	17,000 円。 普通為替証書（郵便局の貯金窓口又はゆうちょ銀行で購入すること）とし、指定受取人欄、受領印欄、委任欄には一切記入しないこと。 なお、出願受付後の既納の検定料は返還しない。

注) 証明書等で、外国語で作成されたものについては日本語訳を添付すること。

(2) 願書提出先

〒 047-8501 小樽市緑 3 丁目 5 番 21 号 小樽商科大学教務課入試室

☎ 0134-27-5254

(3) 提出方法

志願者は、角形 2 号の封筒に出願書類等を取りそろえ、封筒の表に「2019 年度昼間コース中国引揚者等子女入試出願書類在中」と朱書きして、提出すること。

なお、郵送する場合は、必ず**書留**にすること。

(4) 出願上の注意

ア 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しない。

イ 出願書類に不備がある場合は、受理しない。

6 選抜方法

小論文の評価及び面接の評価の合計点並びに成績証明書の内容を総合して判定する。

7 入学試験の日時等

学部・学科名	日 時	時 間	科目等	摘 要
商 学 部 { 経 済 学 科 商 学 科 企 業 法 学 科 社会情報学科	2019 年 2 月 9 日(土)	10:00	小論文	日本語で記述すること。
		~		
		12:00	面 接	
13:00				
		~		

●小論文については、文章理解力、考察力、文章表現力、論理的思考力を見る。

8 試験場

小樽商科大学（小樽市緑 3 丁目 5 番 21 号）

9 合格者の発表

2019 年 3 月 6 日（水） 10:00

合格者の受験番号を本学大学会館前及び小樽商科大学教務課入試室 Web サイト (<https://nyushi.otaru-uc.ac.jp/>) に掲示する。さらに、本人あてに合格の通知を送付する。

なお、電話、メール等による合否についての照会には、一切応じない。

10 入学手続

(1) 入学手続期間

2019年3月7日(木)から2019年3月15日(金)まで

手続方法、受付時間帯等の詳細は、合格通知送付後の入学手続案内により通知する。

なお、入学手続期間中に入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。

(2) 提出書類

本学が指定したもの(入学手続案内により通知する。)

(3) 入学手続に要する経費

入学料及び授業料

	納付額	納付時期
入 学 料	282,000 円	入学手続期間内に納付
授 業 料	前期分 267,900 円 [年額 535,800 円]	入学後(2019年4月中)に納付

注) 上記の納付額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用される。

ア 入学料、授業料の納付方法、免除、徴収猶予の申請等詳細については、入学手続案内により通知する。

イ 既納の入学料は、いかなる事情があっても返還しない。

【入学料免除等の問い合わせ先】

小樽商科大学学生支援課授業料免除担当 ☎ 0134-27-5245

11 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等(身体障がい、発達障がい、精神障がい、病弱・虚弱等)があり、受験及び修学上の配慮を必要とする入学志願者は、出願開始日から起算して1週間前までに本学教務課入試室に相談すること。

日常生活においてごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、配慮を必要とすることがあるので、必ず相談すること。

なお、期限経過後及び出願後に配慮が必要になった場合は、速やかに申し出ること。

事前相談の方法等については、小樽商科大学教務課入試室 Web サイト(<https://nyushi.otaru-uc.ac.jp/>)を確認するか、電話で問い合わせること。

また、事前相談が合否に影響することは一切ない。

12 入試情報開示

入試情報の開示内容等については、2018年12月末までに小樽商科大学教務課入試室 Web サイト(<https://nyushi.otaru-uc.ac.jp/>)で告知する。

13 個人情報の取扱いについて

(1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人小樽商科大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期している。

(2) 志願者の氏名、住所その他出願書類により取得した個人情報及び入学試験成績については、入

学者選抜（出願処理，選抜実施），合格発表，入学手続，入学者選抜方法等の調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用する。

- (3) 合格者の個人情報，入学後の学籍管理，成績管理，授業料管理，図書館利用管理の他，教育活動，学生生活支援及び就職支援活動に必要な組織内の業務遂行のためにのみ利用する。

なお，北海道内の国立大学が，教養教育の充実強化を図る目的で締結した単位互換協定に基づく包括的授業の運営のため，前記の業務に必要な個人情報を各大学及び北海道地区国立大学連携教育機構に提供することがある。

14 重要なお知らせ

教員免許状の取得について

教育職員免許法・同施行規則の改正により，2019年度入学生から改正後の新法が適用される。

そのため，本学は2019年度以降も引き続き下記の教員免許状が取得可能となるよう文部科学省に再課程認定申請を行っている。

ただし，文部科学省における審査の結果，予定している教職課程の開設時期が変更になる可能性がある。

については，入学志望者は，このことを十分理解した上で出願を検討すること。

なお，認定結果が判明しだい小樽商科大学教務課入試室 Web サイト (<https://nyushi.otaru-uc.ac.jp/>) で知らせる。

現在本学で取得可能な教員免許状

	教 科
中学校教諭一種免許状	社会 英語
高等学校教諭一種免許状	公民 英語 情報 商業

ギャップイヤープログラムについて

本学では，本入学試験合格者を対象とした「ギャップイヤープログラム」参加者（定員5名）を募集する。

「ギャップイヤー」とは，高等学校卒業から大学入学までの間の期間を指す。この期間を半年から1年間程度と長く取り，その間テーマを持って留学やボランティア等を行うことで，卒業後の進路選択も含めてより広い視野と大学生活に目的意識を得ることが期待される。

本学で実施する「ギャップイヤープログラム」は，1年間，本学への入学を猶予し，科目等履修生という身分で，長期学外学修プログラム（海外の協定大学での半年間の講義）に参加するもので，採用された場合の入学時期は2020年4月となる。

応募条件等詳細は，「小樽商科大学トップページ (<http://www.otaru-uc.ac.jp/>)」にある「ギャップイヤープログラム」のバナーから確認し，参加を希望する場合は，入学願書の「ギャップイヤープログラムに参加を希望する。」欄にチェックを入れること。

なお，本プログラムへの参加希望の有無は，入学試験の合否判定には一切影響しない。

注 意 事 項

- 1 出願書類が受理された者に対しては、1月28日(月)頃受験票を発送する。1月31日(木)までに届かない場合には、速やかに電話で照会すること。
- 2 受験上の注意
 - (1) 試験当日は、必ず「本学受験票」を持参すること。受験票がなければ小論文及び面接試験を受けることができないので注意すること。
 - (2) 試験当日に「本学受験票」を紛失又は忘れた場合は、係員の指示を受けること。
 - (3) 試験日における試験室への入室開始時刻は、9:00とする。受験者は遅くとも試験開始20分前までに各自の試験室に入室し、受験番号を確認の上、着席していること。
 - (4) 試験時間中は、「本学受験票」を常に机の上に置いておくこと。ただし、試験終了等により退室するときは、必ず携行すること。
 - (5) **試験時間中、机の上には、次のもの以外の所持品を置いてはいけない。**これら以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがある。
「本学受験票」「鉛筆」「シャープペンシル」「消しゴム」「鉛筆削り(電動式、大型のもの、ナイフ類を除く)」「時計(辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものを除く)」「眼鏡」「ハンカチ」「ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)」「目薬」
 - (6) **電子機器類(「携帯電話」「スマートフォン」「腕時計型端末」「電子辞書」「ICレコーダー」等)は、試験室入室前にアラームを解除し、電源を必ず切ってから、かばん等にしまうこと。試験時間中に、これら電子機器類を手を持ったり、上着等のポケットなどにしまっているなど、身につけていることが判明した場合、不正行為となることがある。**
 - (7) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
 - (8) 試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従うこと。試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認める。
なお、試験当日、定時運行している交通機関に事故又は災害等が発生し、多数の受験者が試験開始時刻までに到着できない場合には、試験開始時刻を繰り下げることがある。
また、試験前日の降雪等により交通機関が乱れ、試験に間に合わない事例があるため、予め天候状況等に留意し、試験の前々日までに受験地に到着するなど、余裕のある旅行計画とすること。
 - (9) 上履きは必要ない。
- 3 **不正行為を行った場合は、その場で、受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなり、受験したすべての教科の成績は無効となる。**
- 4 受験について、電話等で照会する場合は、必ず志願者本人が行うこと。

入学願書等記入要領

入学願書等の記入にあたっては、下記の事項をよく読み、間違いのないように記入すること。

- 1 文字は楷書、数字は算用数字で正確に記入し、間違えた箇所は、訂正の部分に2重線(=)を引き、正しい文字あるいは、数字を記入すること。
- 2 それぞれ該当する事項を記入し、又は○で囲むこと。
- 3 黒のペン又はボールペンで記入すること。
- 4 入学願書は、折り曲げたり、汚したりしないこと。
- 5 入学願書等の点線部分は、切り離さないこと。
- 6 ※印欄は記入しないこと。

入学願書

E-mail (任意)

- ・ アルファベットは、ブロック体で、大文字、小文字の区別がはっきりわかるよう、また、「-」、「.」などの記号もはっきりわかるよう、記入すること。

1 氏名

- ・ 漢字で正確に記入し、フリガナはカタカナを使用すること。

2 性別コード番号

- ・ 次の表に従って、コード番号を記入すること。

性別	男	女
コード番号	1	2

3 生年月日

- ・ 年号は該当するものを○で囲むこと。
- ・ 年、月、日が1桁の場合は、数字の前に0(ゼロ)を付けて記入すること。

4 資格取得年及び卒業年コード番号

- ・ 卒業又は卒業見込みの年を記入し、該当するものを○で囲むこと。
- ・ 次の表に従って、卒業又は卒業見込みの年のコード番号を記入すること。

卒業年	2019	2018	2017	2016	2015	2014以前
コード番号	0	1	2	3	4	5

5 高等学校等所在地及び都道府県コード番号

- ・ 高等学校等所在地の都道府県名を記入すること。
- ・ 次の表に従って、高等学校等所在地の都道府県コード番号を記入すること。

北海道01	茨城08	新潟15	静岡22	奈良29	徳島36	熊本43	外国48
青森02	栃木09	富山16	愛知23	和歌山30	香川37	大分44	
岩手03	群馬10	石川17	三重24	鳥取31	愛媛38	宮崎45	認定試験49
宮城04	埼玉11	福井18	滋賀25	島根32	高知39	鹿児島46	
秋田05	千葉12	山梨19	京都26	岡山33	福岡40	沖縄47	
山形06	東京13	長野20	大阪27	広島34	佐賀41		
福島07	神奈川14	岐阜21	兵庫28	山口35	長崎42		

6 設置形態及び設置コード番号

- ・ 高等学校等の設置形態で該当するものを○で囲むこと。
- ・ 次の表に従って、設置コード番号を記入すること。

設 置	国 立	公 立	私 立	その他
コード番号	1	2	3	4

7 高等学校等名

- ・ 高等学校等名のみ記入し、高等学校等コード番号については記入しないこと。

8 課程・学科コード番号

- ・ 次の表に従って、課程・学科コード番号を記入すること。

課 程	全 日 制					定時制・通信制				高 等 専 門 学 校	高 卒 認 定 試 験
	普 通 科	商 業 関 係 学 科	工 業 関 係 学 科	総 合 学 科	そ の 他 の 学 科	普 通 科	商 業 関 係 学 科	工 業 関 係 学 科	そ の 他 の 学 科		
コード番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	90

9 合格通知受信場所

- ・ 合格通知受信場所の郵便番号、住所、電話番号、志願者本人の携帯電話番号を記入すること。
- ・ 携帯電話を持っていない場合は、携帯電話番号記入欄は空欄とすること。

10 緊急時の連絡先

- ・ 緊急時の連絡先の氏名、志願者との続柄、郵便番号、住所、電話番号を記入すること。
- ・ 連絡先が9と同じ場合についても、必ず記入すること。

11 出願者の履歴

- ・ 出願者の履歴は、卒業又は卒業見込み年月及び高等学校等名を記入し、卒業又は卒業見込みのどちらかを○で囲むこと。
- ・ 高等学校等卒業者は、さらに、卒業後の履歴についても記入すること。

ギャップイヤープログラム参加希望チェック欄

- ・ 参加希望者は□に✓を入れること。

受 験 票

- ・ 氏名及び生年月日（年号は該当するものを○で囲むこと。）を記入し、男又は女のいずれかを○で囲むこと。

検 定 料 納 付 書

- ・ 住所及び氏名を記入すること。

写 真 票

- ・ 氏名を記入し、男又は女のいずれかを○で囲み、写真（縦4 cm×横3 cm）を貼ること。

あ て 名 票

- ・ 受験票送付用及び合格通知送付用にそれぞれ郵便番号、住所、氏名を記入すること。